

## 実践研究校の紹介 Part3

今回は、周南市立德山小学校及び美祢市立大田小学校の取組の様子を紹介します。

### 【周南市立德山小学校の授業風景等】



6年生を対象に、「英語ノート2」Lesson6"I want to go to Italy"を教材として、担任単独で、クラスルームイングリッシュを積極的に使用しながら授業が進められました。近隣の小・中学校の先生方40名近くが参観に来られましたが、子どもたちは萎縮することなく、先生が話される英語に、元気よく大きな声で答えていました。また、手の挙げ方や姿勢、返事が大変すばらしかったです。

ユニークな取組として、「～が見たい、～を食べたい、～へ行きたい」という英語表現を示すのに、イラストを用いるなど、子どもたちの理解を助ける工夫がなされていました。

既に、今年度12時間の校内研修を実施されていますが、更に意欲的に研修を進めようとしておられます。また、低・中学年においても先生同士で模擬授業をするなどの研修が進められています。

### 【美祢市立大田小学校の授業風景等】



5・6年生ともに「英語ノート1」を使用して授業が進められています。Lesson6"What do you want?"の授業風景です。担任が店員役、外国語指導助手がお客役となって、レストランでの料理の注文場面を演じて見せ、子どもたちに会話の内容が理解できるよう工夫がなされていました。担任がお客の注文を聞き取りメモすることで、お店の雰囲気は上手に演出されていました。また、フルーツバスケットをアレンジしたゲームを通し、子どもたちは"What do you want?" "~,~ and~, please."の表現に、楽しみながら慣れていました。

5・6年生の担任に教務主任を加えた3人が中心となって、外国語活動の研修が進められています。低・中学年の教員も気軽に授業参観し、外国語活動のイメージを掴もうとされています。実施された授業の指導案はラミネート加工され、誰でも閲覧できるようにし、来年度も活用できるように専用ケースに整理・保管されています。

## 調査研究校の紹介

文部科学省では実践研究校以外に「英語教育改善のための調査研究校事業」を設定し、①小学校における英語教育の適切な開始年次や授業時数の在り方、②小学校から中学校への円滑な移行のための方策等、教育課程等の改善に資する実証的資料を得るための事業を実施しています。県内では、防府市立富海小・富海中学校が指定を受けて研究に取り組んでいます。この事業を実施する学校においては、「現行の小学校学習指導要領や中学校学習指導要領」、及び「移行措置期間における小学校学習指導要領や中学校学習指導要領の特例を定める件」に規定された内容等を踏まえた上で、教育課程の特例を設けることができます。このため、富海小学校では現行の学習指導要領に示された教育課程にとらわれず、「生活科」の時間あるいは「総合的な学習の時間」を縮減し、小学校1年生から35時間の外国語活動が実施されています。12月8日（火）に小・中学校合同での研修会が実施されました。その様子を紹介します。

### 【2年生の授業風景】



担任単独指導で、歌に踊り、ゲームに読み聞かせ、蝶の塗り絵など、様々な工夫をしながら、主眼である色の表現に慣れる授業が展開されました。子どもたちは、大変楽しそうに活動していました。

### 【5年生の授業風景】



レストランで注文した食べ物を個人のプレートに貼り、グループ毎に紹介した後、誰が何を注文したのか当てることが主な活動でした。子どもたちは、楽しみながら積極的に受け答えをしていました。

### 【6年生の授業風景】



中学校の先生とのTTの授業でした。体育館全面を使って、ペアの相手を目的地に移動させる活動では、子どもたちは、「進め、止まれ、右」などを指示したり、動いたり大変活発に活動していました。

## 英語ノートの配布について

平成22年度の英語ノートは各学校へ配布されます。しかし、平成23年度以降については、行政刷新会議「事業仕分け」の評価結果を受けて検討がなされており、現時点では未定です。はっきりしたことがわかり次第連絡いたします。

## 小学校中核教員外国語活動実践研修事業について

小学校の先生方全員を対象に、各学校の校内研修等で活用いただき公表を博している本事業は、11月末日現在、全180回の予定に対して100回の研修が終了しました。

来年2月までを目途に引き続き80回の研修が予定されています。

なお、本事業は本年度のみの実施となります。